

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--------|--------------------------------------|------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 31201 | 社会のしくみ Learning how society works | 玉木 満 | | 基礎 | 2 | 選択 | 1・2後期 |

科目の概要
 大学生（短大生）になると、これまでよりも「社会」に接する機会が増えます。そして、大学（短大）を卒業すると、「社会」に出ます。皆さんはアルバイトをしたり、運転免許を取得して車を運転したりするでしょう。これからはいろいろな契約を自分で結ぶこともできるし、政治に参加することもできます。多くの人は会社で就職するでしょうし、なかには起業する人もいます。結婚する人もいます。子どもを授かり、育て、やがて親を介護する時もあるでしょう。この科目は、これから皆さんが直面する社会のしくみの基礎を学ぶ授業です。また、今後ますます「社会」では情報化が進み、人の交流・移動が活発になり、多様な価値も生まれます。この科目は、そのように変容する社会の中で生ずる様々な問題を取り上げ、一人ひとりかけがえのない個人が互いに尊重して暮らすことのできる社会のあり方を考えることも狙いとしています。講義では場面ごとに社会の制度の内容とその制度がどのように機能しているかを説明し、その制度についてどんな問題が生じているか、その問題に対してどんな見方や考え方が紹介・解説します。

| 学修内容 | 到達目標 |
|--|---|
| ① 社会の中でさまざまな個人がともに生活（＝共生）するために必要なしくみ（基礎知識や制度）を修得する。 ② 社会の中でさまざまな個人が共生する際に生ずる課題を解決するために必要な知識・情報を得て整理する。 ③ ②の課題に対する他者の考え方や見方を要約し、理解する。 ④ ②と③を通じて課題を発見し、理由や根拠をつけて課題に対する自らの考えを示す。 | ① 社会のしくみと、それがどのように機能しているかを説明できるようになる。 ② 社会の抱える課題を解決するために必要な知識・情報を探し、まとめられるようになる。 ③ 社会の抱える課題に対するさまざまな考え方を知り、理解できるようになる。 ④ 社会の抱える課題に対して、理由や根拠をつけて自らの考えを示せるようになる。 |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 |
|---------------------|-------------|---|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | ①シラバスを見て授業内容を確認し、事前に配付される教材に目を通し、知らない単語や分からない用語の意味を授業時までにはあらかじめ調べておく。 ②日頃から社会で起こる出来事に関心を持ち、自発的に図書館で本や資料を調べ、インターネットで情報を収集するなどして、社会のしくみとその実態を把握するよう努める。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | ①事前に配付される教材に目を通して、知らない単語や分からない用語の意味を図書館の本・資料で調べたりインターネットで検索したりして、メモする。 ②授業後に提出が求められるリアクションペーパーに、講義内容に関する感想や意見、質問を書いて期限までに提出する。 ③出題されたレポートに取り組み、期限までに提出する。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | ①日頃より新聞やテレビの報道に積極的に接し、社会で起こる様々な出来事から、社会の抱える課題を見つけられるようになる。 ②配付される教材や自分で探した資料をよく読み、社会の抱える課題を挙げられるようになる。 |
| | 計画力 | |
| | 創造力 | 社会の中で常識とされていることを再検討し、よりよい魅力的なアイデアを提案できるよう努める。 |
| チームで働く力 | 発信力 | ①授業の中で教員から紹介された考えや質問された点について、理由・根拠を示して自分の意見を述べることができる。 ②受講した授業内容について自らの感想や質問を書いたり、理由・根拠を示して自分の意見をまとめられるようになる。 |
| | 傾聴力 | ノートをとりながら授業内容を正確に理解し、授業内容についての他学生の意見のポイントを把握できる。 |
| | 柔軟性 | 授業の中で紹介された考えや授業内容についての他学生の意見と自らの意見の異同を把握することができる。 |
| | 情況把握力 | |
| | 規律性 | ①無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。（全科目共通） ②なぜ社会にはルールが必要か、なぜ人との約束を守らなければならないかを理解し、社会に必要な合理的ルールや約束を守ることができる。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

- ・テキストは用いない。
- ・参考文献は、授業中、またはGoogle Classroom上で適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

- ・他科目との関連：「国際理解」「情報と社会」「企業・経営のしくみ」「ジェンダーと社会」「消費生活の基礎知識」「社会福祉論」
- ・資格との関連：情報処理士

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|---|---|
| ①初回授業で受講・学修方法を説明しますので、【必ず】出席して下さい。 ②授業は、配付される教材（シラバス・資料）を基に講義形式で行います。初回授業と第2回授業は、初回授業時に印刷したものを配布します（したがって、第2回授業は授業日の1週間前までに配付することになります）。それ以降の教材は、前回授業時に配付します（例えば、第3回授業は第2回授業時に、第4回授業は第3回授業時に配付します） ③出席するなどで授業の進捗が滞り、教材をなくした場合は、印刷教材を配付しません。Google Classroom上にある教材ファイル（Word形式またはPDF形式）を各自でダウンロードし、必要に応じて印刷して下さい。 ④Google Classroomへの投稿・利用状況については、初回授業で説明がありますので、【必ず】説明を受けて、理解できるようにしておいて下さい。授業担当から受講生全員へのメッセージは、Google Classroom上で行います。 ⑤成績評価に当たっては、授業の出席状況（Google Classroom）の内容も考慮します。また、日頃から新聞・テレビ・インターネット等で、ニュースに関心をもちようとして下さい。 ⑥スマートフォンやパソコンを持って、Microsoft Wordで文章を作成したり、授業内容を調べるようにして下さい。 ⑦新型コロナウイルス感染症対策のため、遠隔授業に切り替わるなど受講方法がかわるの可能性があります。シラバスの内容の一部が変更される場合があります。その場合は、別途案内します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・6回以上欠席すると、期末試験の受験資格を失います。 ・公欠はありません。学外実習、就職活動等であっても欠席扱いになります。 ・授業中の私語は厳禁です。他の受講生の授業を受ける利益を侵害し、授業妨害になるからです。 ・パソコン・スマートフォン等の音を鳴らしてはいけません（授業中の通話も一切認めません）。 |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---------------------------------|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 70 | ① | ✓ | (1) 講義内容、とくに授業で紹介した基礎知識（用語、考え方…）を正確に理解している（→到達目標①および③）ことを確かめるため、短答式、穴埋め、用語説明の設問に正解しているかを判定する。 (2) 講義で得た知識と自らが調べた情報を用いて、社会の中で起きている問題を指摘し、その問題について自らの意見を示すことができるか（→到達目標②③④）を評価する。 | |
| | | | | ② | ✓ | | |
| | | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | ④ | ✓ | | |
| | 学修成果 | 小テスト | | 0 | ① | | |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | ④ | | |
| | | レポート | | 20 | ① | | (1) 課題テーマ：「選択的夫婦別氏制度を日本に導入すべきかについて1200字～1600字で論じなさい」（詳細は、第9回授業時に発表する） (2) レポート評価基準 (a) 問われている課題内容を正確に理解し、必要な情報・資料を収集・要約・整理しているか。 (b) 使用する用語・概念を明確に定義しているか。 (c) 収集した情報・資料から考察する論点を明らかにできているか。 (d) 自らの考えを論理的に展開し、結論を示せているか。 |
| | | | | | ② | ✓ | |
| ③ | | | | | ✓ | | |
| ④ | | | | | ✓ | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | | 0 | ① | | | |
| | | | | ② | | | |
| | ③ | | | | | | |
| | ④ | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | | 10 | ① | | (1) 講義内容に対するリアクションペーパー（感想・疑問・意見）を毎回期限までに提出する。（主体性、実行力、創造力、発信力） (2) 講義を欠席した場合は、欠席課題を期限までに提出する。（規律性） (3) レポートを期限までに提出する。（主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力） (4) リアクションペーパーに対する教員からのフィードバックや他の受講生の意見を参考にして、自らの意見を再考する。（傾聴力、柔軟性） | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | ④ | | | |
| | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|--|
| ・S(秀)：(1) 学期末試験①にほぼすべて正解し、同②をほぼすべてクリアしており、(2) 評価基準①～④をほぼすべて満たしたレポートを期限までに提出しており、(3) 感想・疑問・意見を書いたリアクションペーパー（欠席した場合は欠席課題）を毎回期限までに提出している。 ・A(優)：(1) 学期末試験①にほぼすべて正解し、同②の一部だけをクリアしており（例えば、得た知識・情報は書かれているものの、論点を指摘できていない、とか、知識を踏まえた論拠に基づかずに、自分の意見が書かれている等）、(2) 評価基準①～④のうち3つ以上を満たしたレポートを期限までに提出しており、(3) 感想・疑問・意見を書いたリアクションペーパー（欠席した場合は欠席課題）を期限までに少なくとも13回は提出している。 | ・B(良)：(1) 学期末試験①に半分以上正解し、(2) 評価基準①～④のうち1つ以上を満たしたレポートを期限までに提出しており、(3) 感想・疑問・意見を書いたリアクションペーパー（欠席した場合は欠席課題）を期限までに少なくとも10回は提出している。 ・C(可)：学期末試験①のうち最低限基本的な問題に答えることができ、(2) 感想・疑問・意見を書いたリアクションペーパー（欠席した場合は欠席課題）を少なくとも10回は提出している。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|---|--|---|-------|---|
| 1 | 【成人年齢と社会のしくみ】 成人年齢の引き下げにより社会のしくみの何が変わり、何が変わらないかを学ぶ。 | 講義、リアクションペーパー、リアクションペーパーに対する教員のコメント(=フィードバック) | 成人年齢の引き下げにより変更される社会のしくみと変更されないものを指摘できる。 | ・予習：成人年齢の引き下げに関するニュースを新聞・インターネットで調べる。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 2 | 【社会生活と契約】 契約とは何か、どんな契約があるか、誰が契約を結べるのか、契約はどのように結ばれるかなど、契約の基本原則を学ぶ。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | 契約の基本原則について具体例を用いて説明できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 3 | 【社会生活におけるアクシデント】 交通事故などの事例を使って、加害者が被害者に損害を与えた場合、どのような要件を満たすと被害者は加害者に損害賠償を請求できるかを学ぶ。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①不法行為、故意と過失、因果関係、逸失利益などの用語を簡潔に説明できる。②被害者が加害者に損害賠償を請求できる場合を、具体例を用いて説明できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 4 | 【社会における会社と労働(1)】 まず、企業(会社)とは何か、特に株式会社とは何かを理解する。次に、会社の作り方を知り、株式会社を機能させるためのしくみ(例えば「取締役」や「取締役会」、「社外取締役」など)を学ぶ。そして会社が活動するために必要なお金の集め方(例えば、株式の意味、会社と株主の関係など)を学ぶ。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①会社、株式会社、取締役、株式などの用語を簡潔に説明できる。 ②会社と株主の関係や株主の権利についての基本的な質問に答えられる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 5 | 【社会における会社と労働(2)】 ①アルバイトや就職をするときに注意すべきことは何かを知り、賃金や労働時間、休憩、休日などの労働条件に関するルールを学ぶ。②仕事をやめるときややめさせられるときのルールを知っておく。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①最低限身につけておくべき労働条件の基本ルールを上げることができ、②解雇とその手続が説明し、法律で解雇が禁止されているケースや会社の「解雇権」が「濫用」されるケースを上げることができる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 6 | 【社会福祉】 ①日本国憲法25条で保障されている生存権を具体化する生活保障制度を学び、その運用上の問題点を知る。②主に高齢者をサポートするための成年後見制度(後見・保佐・補助)を学ぶ。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①日本国憲法25条の生存権保障が何を意味しているかを説明できる。②生活保護を中心とする生活保障制度の概要を説明できる。③高齢者の判断能力が減退した場合、成年後見制度のうちどの制度が具体的に利用可能かを指摘できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 7 | 【家族に関する社会制度(1)】 ①どのような条件を満たすと婚姻(結婚)でき、婚姻すると夫婦にはそれぞれどんな権利や義務があるかを学ぶ。②どのような条件を満たすと離婚でき、離婚後、夫婦の財産をどう分けるか、子育ての責任を誰が負うかについて学ぶ。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①婚姻や離婚の条件を列挙できる。②離婚後、夫婦の財産をどう清算するかについての基本原則を説明できる。③「親権」「面会交流(面接交流)権」などのキーワードを簡潔に説明できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 8 | 【家族に関する社会制度(2)】 ①相続とは何か、いつ・誰が・何を・どのように相続するかという相続制度の基本設計を学ぶ。②相続する人(=相続人)の公平を図るための調整のしくみ(寄与分、特別受益)を具体的な典型例を使って理解する。③故人(=被相続人)の意思を尊重するしくみ(遺言制度)と相続人の利益を尊重するしくみ(遺留分など)のバランスのとおり方を考える。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①相続制度の基本設計を、具体例を使って説明できる。②寄与分、特別受益が問題となる典型例を使って相続額を計算できる。③遺言の方式にはどんなものがあるかを挙げられる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|----------------------------|---|---|-------|--|
| 9 | 【平等な社会】 ①まず、日本国憲法14条に定められている「法の下の平等」の意味を確認する。②次に、日本の社会に実際に存在する男女格差を列挙し(受講生にも列挙してもらい)、③男女格差や不平等を解消する方法にはどのようなものがあるかを紹介し、④ジェンダーの視点を踏まえた平等のあり方についても考える。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①「絶対的平等/相対的平等」「形式的平等/実質的平等」とは何かを説明できる。②日本の社会に実際に存在する男女格差を2つ以上挙げることができる。③「ポジティブ・アクション」とは何かを具体例を挙げて説明できる。④「ジェンダー」とは何かを具体例を挙げて説明できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 10 | 【言論と社会】 日本国憲法21条は表現の自由を保障している。そこで、まず、①社会の中でなぜ表現活動を保障しなければならないかについていくつかの見解を紹介する。次に、②「他人の悪口をいう」表現活動と名誉の保護が対立した事件の判決を参照して、社会のしくみとしてどこまで表現活動の自由を保障すべきかを考える。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①表現の自由を保障すべき理由を列挙できる。②名誉の自由の保障と名誉の保護が対立した事件における最高裁判所の判決の要点を説明できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 11 | 【情報と社会(1)】 ①情報化社会では、企業が個人のような情報を収集し流通させ利用しており、また、国や地方自治体も個人情報を収集し、住民基本台帳で網羅的・包括的に管理し、行政サービス等に利用している現状を確認した上で、②①が個人のプライバシーを侵害するおそれがあるため、個人情報保護や情報セキュリティをどう確保すべきかを考える。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①プライバシーとして保護すべきものは何かを指摘できる。②個人情報保護法において取扱いに配慮が必要な「個人情報」とは何かを説明できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 12 | 【情報と社会(2)】 本を書く、写真を撮る、曲を作るなど、創作活動によって作られたさまざまな文化的な創作物(=著作物)は「著作権」によって保護されている。①著作権とは何か、どのように保護されているかを知り、②他人の著作物を使用するにはどうしたらよいか、自由に他人の著作物を使える場合はあるかなどを、事例を用いて学習する。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①「著作物」とは何か、「著作者」とは誰かを説明できる。②「著作権」とは何かを説明でき、「著作隣接権」にはどのようなものがあるかを具体的に列挙できる。③典型例について著作権を侵害しているか否かを判断できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 13 | 【社会生活と紛争処理】 社会における紛争処理のしくみとして裁判がある。①民事裁判と刑事裁判は全く異なる事件を処理する手続であることを確認し、それぞれの裁判手続で用いられる用語の意味を学び、それぞれの裁判手続の流れを把握する。②受講生の中から選ばれられる可能性のある、刑事裁判における裁判員制度を学ぶ。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①民事裁判と刑事裁判は別物であることを理解できる。②民事裁判と刑事裁判ではそれぞれどのような事件を処理するかを指摘できる。③民事裁判や刑事裁判で出てくる用語(例えば、「控訴」「上告」「原告」「被告」「起訴」「被疑者」「被告人」「執行猶予」など)を説明できる。④裁判員制度の概要を説明できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | 【多文化共生社会と人権】 出入国管理白書などを参照して日本に在留している外国人の状況を確認した上で、学説や裁判例を紹介しながら外国人の人権、とりわけ生存権と参政権の保障のあり方について考える。 | 講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①日本に在留している外国人は、どの国から、どのような資格で来日したかを述べることができる。②在留外国人のオーバーステイに伴う近時の社会問題を指摘できる。③外国人の生存権や参政権に関する裁判例において最高裁判所がどのような判断をしたかを紹介できる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 15 | 【民主主義社会】 ①政治や民主主義についての受講生の感想・印象を紹介・共有する。②民主主義はいつ生まれ、どのように変化してきたかを紹介する。③「民主主義=選挙=多数決」について考える。④日本の社会で民主主義を活用する方法を探る。 | 予習課題、講義、リアクションペーパー、フィードバック | ①民主主義にはどんな利点があり、どんな弱点があるかを示すことができる。②民主主義の使い方について自分なりに考えることができる。 | ・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②リアクションペーパーを提出する。(120分) | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力